

デンカハードロックⅡ

DENKA HARDLOC Ⅱ

塗膜形成樹脂・繊維接着樹脂 デンカDK550-04

① はじめに

ハードロックⅡ DK550-04は、二液主剤型低臭気アクリル樹脂で、コンクリート表面に塗布して被膜を形成し、中性化抑制や表面強度向上の機能を有します。また、コンクリート剥落防止や補強の繊維接着工法用樹脂としても適用します。

② 特徴

①速硬化性・低温硬化性

短時間で硬化確認できるため、時間制限のある施工に適し、工期短縮を可能とします。
-10℃でも硬化するため、冬場施工が可能です。

②取扱いが簡単で作業効率向上

A剤とB剤の混合比は、1：1をベースとしていますが、正確な計量混合が不要で、混合比のズレによる接着不良も起きにくく、臭気も低臭にしているため、作業効率が向上します。

③高い耐久性

乾湿繰り返しによる大幅な強度低下がありません。

④安全性

皮膚刺激性の低い原材料を厳選して使用しております。

③ 性状

項目	品種名※	デンカDK550-04R(一般タイプ)		デンカDK550-04S(遅延タイプ)		DK550-04W(速硬タイプ)	
		A剤	B剤	A剤	B剤	A剤	B剤
施工時期による区分		主として春季・秋季に用いるもの		主として夏季に用いるもの		主として冬季に用いるもの	
主成分		変性アクリル		変性アクリル		変性アクリル	
外観		白色系液	青色系液	白色系液	青色系液	白色系液	青色系液
液比重		1.0		1.0		1.0	
混合比		1：1		1：1		1：1	
粘度 [mPa・s]	5℃					4000	
	15℃	8000					
	25℃			8000			

※種類の選択については、裏面表の「可使：硬化時間」のデータを参照してください。

Denka

項目	品種名	デンカDK550-04R		デンカDK550-04S		デンカDK550-04W	
		可使用時間 (min)	硬化時間 (min)	可使用時間 (min)	硬化時間 (min)	可使用時間 (min)	硬化時間 (min)
可使用時間:硬化時間 [分] ・温度上昇法	35℃			10	20		
	30℃	5	15	15	25		
	25℃	10	30	20	35		
	20℃	20	45	25	45		
	15℃	30	70			15	40
	10℃	60	120			25	55
	5℃	120	240			35	70
	0℃					60	120
	-5℃					85	170
-10℃					150	300	
コンクリート付着力	[N/mm ²]	2 (建研式)					
圧縮降伏強さ	[N/mm ²]	80 (JIS K 7181)					
曲げ強さ	[N/mm ²]	40 (JIS K 7171)					
引張強さ	[N/mm ²]	30 (JIS K 7161)					

※25℃以上で可使用時間を確保する際は、オプションの専用遅延剤を添加して下さい。

(一例)

デンカDK550-04S遅延剤添加データ

温度 (℃)	遅延剤添加量 (wt%) 可使用時間/硬化時間			
	0	1	1.5	2
35	10/20	12/25	20/35	40/65
30	15/25	20/30	30/50	—
25	20/35	25/40	40/70	—

※使用する硬化遅延剤は「硬化遅延剤3」となります。

4 荷 姿



5kgセット : A剤・B剤各2.5kg

※写真参照

30kgセット : A剤・B剤各15kg

※内側にポリエチ容器が入っている缶

5 使用法

- コンクリート面状況（平滑か凹凸か）によって、一般的にローラーまたは刷毛で塗布します。
- 吹き付け機による塗布は、事前に弊社にご相談ください。
- 繊維接着工法で使用する場合は、標準施工要領書を参照してください。
- 樹脂注入工法で使用する場合は、ひび割れ幅1mm以上を目処として、可使用時間等材料特性を確認ください。

警告

可燃物注意

水生生物に有害

- ハードロックIIは消防法の危険物に相当しますので作業場は火気厳禁としてください。
- 一度に多量の接着剤を硬化させると激しい発熱が生じますので注意してください。
- 皮膚や衣服に付着するとかぶれる恐れがありますので早めに石鹸で洗ってください。万一かぶれた場合は医師の手当てを受けてください。
- 作業場所は換気を良くし、保護眼鏡、保護手袋、必要に応じて有機ガス用マスク等の保護具を着用してください。
- 目に入れたり、飲みだりは絶対にダメです。誤って目に入った場合、15分以上流水で洗浄し、医師の手当てを受けてください。また、誤飲した場合、吐かせて医師の手当てを受けてください。
- 湿気や金属との接触を避け、密閉の上冷蔵所に保存してください。
- 廃棄する場合は、A/B剤を少量づつ混合し硬化させてから捨ててください。また混合し、硬化した（硬化中の樹脂）は廃棄するまで水の中に浸漬させてください。
- 接着剤が付着した可燃物（ウェス、段ボール、養生シート等）、注入用器具も廃棄するまで水に浸漬させて下さい。
- 本製品の硬化物をディスクサンダー等で研磨した場合、研磨した粉末を集めたまま放置すると自然発火のおそれがあります。積もった研磨粉は、掃除機は使用せずに、ほうき等で集めた上、廃棄するまで十分な水に浸けておき、早めに専門の廃棄物処理業者に処理を委託して下さい。

自然発火の注意

- ・ディスクサンダー等による研磨粉は掃除機は使用せずほうき等で集めて十分な水に漬けて廃棄してください。
- ・樹脂の付着したウェス、ダンボール、ローラー、刷毛等は十分な水に浸漬させて廃棄して下さい。
- ・硬化時に発熱を伴います。

◇データ等記載内容についてのご注意◇

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保障をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前に試験を行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性について貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・安全データシートで確認してください。これらの資料は、弊社の営業担当部門で用意しておりますので、お申し付けください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。

Denka

デンカ株式会社 インフラ・ソーシャルソリューション部門 特殊混和材部
 〒103-8338 東京都中央区日本橋室町2-1-1
 電話 03-5290-5363 FAX 03-5280-5085